

令和3年度 伊勢地域公共交通会議 第3回 議事要旨

■ 開催概要

日時：令和4年1月13日（木） 16時30分～18時30分

場所：伊勢市役所 本館 3階 委員会室

出席者：全21名

学識経験者

1名（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

市民代表 4名

一般乗合旅客自動車運送事業者

2名（三重交通株式会社バス営業部部長（乗合）、三重県タクシー協会伊勢志摩支部長）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1名（三交伊勢志摩交通労働組合 執行委員長）

鉄道事業者

2名（近畿日本鉄道株式会社 宇治山田駅長、東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部）

中部運輸局三重運輸支局

1名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署

1名（交通第一課長）

三重県

2名（地域連携部交通政策課長、伊勢建設事務所総務管理室管理課長）

伊勢市

5名（市長、産業観光部長、健康福祉部長・教育委員会事務部長、都市整備部参事）

事務局

2名（伊勢市都市整備部交通政策課）

■ 議案第1号 令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局から説明し、意見を伺った。

4の計画の達成状況の評価指標とその結果において、路線バスの利用者が3割ほど減った理由など詳細が分かれば教えてほしい。高齢者はこれまで病院へ行っていたが、コロナで行かなくなっており、コロナが収まっても出歩かなくなる可能性がある。その方たちに頑張って出てくださいと言っても難しいところがある。

一方、学生については、今の中学生に利用をしてもらうよう訴えることも大事だと思う。

減った状況が分かれば今後の手の打ちようが分かってくると思われる。

詳しく書いた方が良い。
(学識経験者)

- ⇒ 全県的に、通勤通学の利用者が概ね5割減である。定期券利用は概ね2割減であり、その内通勤の減少が大きい。県境をまたいでの利用者の減りが強く出ている。津より南地域での通勤利用の減少は強く出していない。通学の減少は少なく約1割減である。県境をまたいだ通学の大学生・専門学校生は戻り切っていない。(三重交通)
- ⇒ 近鉄は、2019年比で定期外が3・4割減である。昨年一時持ち直したが、全盛期までは戻っていない。(近鉄)
- ⇒ 在来線はコロナ前と比べ33%減である。名古屋近郊で昨年11月は78%まで復旧したが、依然として厳しい状況である。(JR)

公共交通利用者が戻らなかった場合、新しいやり方を考えていかないといけない。消極的だと目標を下げるのか判断しないといけない。
各路線で改善点を考えないといけない。令和4年度は分析をすることが大事であると感じた。
(学識経験者)

コロナ禍であっても目標達成されているところがあるが、分析が必要である。(運輸支局)

年末年始、神宮に沢山の参拝者が来ていたが、タクシーの稼働は少なかった。
何かきっかけがあれば変わると思う。
朔日だけを見ると、コロナ前と比べても売り上げは変わらなかった。(タクシー協会)

観光業は厳しい状態であった。
ツアー会社から団体列車が成立していないと聞いた。
ぎゅーとらの行こカーが便利になり、買い物スタイルが変わり公共交通利用が減少し、今回の目標未達成になっているのではないかと。(市民代表)

二見には、車で沢山来てもらっているが、JRで来た方からバスの本数が少なく不便と聞いている。
病院へ行くのにおかげバスを3回ほど利用していた人が、コロナの影響で1回にしたと聞いている。また、家族の車に乗せてもらっていると聞いた。移動販売で買い物をすると聞いた。こういった理由でおかげバスの減少になっているのではないかと思った。(市民代表)

講習会の回数が減り外出の機会も減った。絆も生き甲斐もなくなった感じになっている。
子供たちはマスクをとることに抵抗があるみたいで、子供たち同士のコミュニケーションが取りにくいと教師に聞いた。(市民代表)

毎年地域行事で神宮に行っていたが、行けていない。
神宮近くの駐車場がいっぱいだった。若い人が多く公共交通を利用されていないように感じた。
地域のコミュニケーションが少なくなり、人が亡くなったことも知らないことがあった。
(市民代表)

各路線の具体的な分析し対策をしていきたい。(市長)

議案第1号 令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、原案通り承認いただいた。

■ 議案第2号 令和4年度 伊勢市コミュニティバスの運行及び路線・ダイヤ変更について

事務局から説明し、意見を伺った。

湯田新村方面のおかげバスデマンドのダイヤで柏団地が4分違いで停留することになっているが、どういう客をターゲットにしているのか。
客から電話あったとき聞き直しの必要が出てくる。2つ作る意味があるのかなと思う。
(タクシー協会)

⇒ 地元の意見も聞き検討していきたい。(事務局)

沼木バスデマンドの昭和苑会館、昭和苑、サンパーク下も同様である。
客が上りと下りで逆に待っていたといったことがあった。
(タクシー協会)

⇒ 地元の意見も聞き検討していきたい。(事務局)

今回の変更で、東大淀明野小俣線で日赤へ行きやすくなり、環状線へ乗ってもらいやすくなったので良いと思う。
(三重交通)

おかげバスの方はこれで良いと思う。
デマンドで、ベリー小俣店の停留所で乗る方が、どこの店舗から乗られるか把握し、ベリー以外の店舗から乗る方が多いのであればそちらにも停留所を設けるのも使いやすくなり良いのでは。
(学識経験者)

日赤へ行きやすく拡充してもらってありがたい。(市民代表)

デマンドにおいて運行事業者がまだ決まっていないが、本来であればこの会議で運行事業者の安全面を確認する必要がある。入札のタイミングが遅いのでは。
各種の安全面の確認ができないので今後は検討をしてほしい。乗合の許可をもっていない事業者が落札した場合、審査に時間がかかり、期日に間に合わないことも出てくる。(運輸支局)

⇒ 市の予算の関係で債務負担行為を計上するのが12月議会で承認となり、作業をしても遅くなってしまいますので、9月議会で計上することも検討する。他の自治体の状況も聞き、運輸支局さんと相談させてほしい。(事務局)

議案第2号 令和4年度 伊勢市コミュニティバスの運行及び路線・ダイヤ変更について、原案通り承認いただいた。

■ 議案第3号 自家用有償旅客運送（沼木地区自主運行バス）の更新登録について

事務局から説明し、意見を伺った。

6ページ 3自家用有償旅客運送の種別に交通空白地と書いてあるが、交通空白地有償運送に名称変更となった。(運輸支局)

今回重大事故の発生報告はなかったが、全国的には重大事故が発生しているので安全運行には十分注意してほしい。(運輸支局)

車両の保険は、自家用有償に用いることも前提になっているか。
通常は白ナンバーで有償は違法であり確認しておいてほしい。
(学識経験者)

⇒ そのようになっていると思う。確認しておく。(事務局)

議案第3号 自家用有償旅客運送(沼木地区自主運行バス)の更新登録について、
原案通り承認された。

■ 報告第1号 バス停上屋の設置について

事務局から説明し、意見を伺った。

神宮会館前や猿田彦神社に三重交通さんで上屋を設置してもらったが、バス停が分かりやすく非常に良くなった。また、列が並びやすくなった。
バス停以外に何か利用できる空間になれば良いと思った。
(市民代表)

利用が多いバス停には街灯は必要と思う。(学識経験者)

■ その他 おかげバス等の利用状況について

事務局から説明し、意見を伺った。

進修おでかけタクシーはほぼ固定客である。すべての皆さんに使いやすいようすることは難しい。一部の方には喜んでもらっている。
この取組を実施するにあたり地域の実情が分かり良かった。
今は、利用客が少なくまち協の予算を使用していないが、利用客が増えてきた場合は課題も出てくると思う。
(市民代表)

■ その他 第9回(令和3年度)バスポスターコンクールの結果について

事務局から説明した。

■ その他 神都LINERの1周年について

三重交通から説明があった。